



# 学校だより

3月号

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

E-mail:[y3mutukd@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3mutukd@edu.city.yokohama.jp)

横浜市立六つ川台小学校

平成30年2月28日

## 一年を振り返る

校長 滝本 俊一

日々の寒暖の差が激しく、体調を崩される方も多いのではないのでしょうか。それでも校内の梅の木は、気がつけばつぼみが膨らみ、開花した花が春の訪れを告げてくれています。

さて、今年1月23日に群馬県・草津白根山が噴火しました。草津白根山は、白根山、逢ノ峰、そして今回噴火した本白根山からなります。白根山は最近も火山活動が確認されており、直近では1983年に噴火（水蒸気爆発）しました。このため、白根山には観測機器が設置され、監視が続いています。しかし、今回の噴火は、過去何度も噴火してきた白根山ではなく、およそ3000年も噴火がなかった本白根山で突然起きたものでした。全く予期していないところでの噴火に、専門家の方々も驚きを隠せないようでした。ところが、噴火の予兆はあったということが後になってわかったそうです。草津白根山を20年以上研究してきた大学の教授が、噴火後、改めて観測データを分析したところ「昨年あたりに地震が増えていたという兆候」があったということです。教授によると、去年頃から過去何度も噴火してきた白根山（湯釜）の地下では、マグマからの火山ガスの流れがふさがれ、地震の回数が減った一方、今回噴火した本白根山（鏡池周辺）の地下に、行き場を失った火山ガスが集中し、その結果、地震の回数が増えて震源も浅くなり、これが噴火の「前触れ」だったとみられるということです。予兆など全くなかったとみられる噴火でも、詳しく調べ返すことで、予兆とみられる現象を発見することができたのです。きっと、今後の噴火予知に生かされることと思います。

本校の4～6年生の児童が、タグラグビーの大会に参加しました。希望者が12月から朝練をはじめ、1月に別所小と交流試合を行い、2月の大会に臨みました。朝練には72名もの児童が参加し、毎回、元気に練習していました。大会では、体調や都合で参加できない児童もいましたが、56名の児童が参加しました。本校の学校規模から考えると、とても多くの児童が参加したといえます。大会では、練習の成果を発揮でき試合に勝って喜んだり、思うように試合ができずに負けて悔しがったりしていました。中には、試合に負けた悔しさで涙する児童もいました。それだけ一生懸命取り組んできたのでしょう。しかし、ただ悔しがるだけでは成長はありません。悔しかった思いをエネルギーにして、試合で何ができて何ができなかったのか、足りなかったのか等振り返りをしっかりと行い、それをこれからの練習に生かしていくことが成長につながるのです。

火山噴火予知やタグラグビーの試合だけでなく、日々の活動を振り返り、次に生かすことは大切なことです。六つ川台小学校でも、この一年間の活動を振り返り、来年度その振り返りを生かして、よりよい六つ川台小学校にしていきたいと思っています。

これからも教職員一同、子どもたち一人一人がもっているよさをしっかりととらえ、保護者の皆様、地域の皆様と共に六つ川台小学校の大切な子どもたちを育てていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。